

公孫樹 (いちろう) 臨時号

～学べ 鍛えろ 夢を持て～

行田市の足袋蔵等が日本遺産に認定されました ～文化財の大多数が行田中学区内にあります～

行田市が日本遺産認定の申請をしていた「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵(たびぐら)のまち行田」のストーリーが、平成29年4月28日に県内初の”日本遺産”に認定されました。

【認定された行田市のストーリーの概要】

忍城の城下町行田の裏通りを歩くと、時折ミシンの音が響き、土蔵、石蔵など多彩な足袋の倉庫「足袋蔵」が姿を現します。行田足袋の始まりは約300年前。武士の妻たちの内職だった行田足袋は、やがて名産品として広く知れ渡り、最盛期には全国の約8割の足袋を生産するまでに発展しました。それと共に明治時代後半から足袋蔵が次々と建てられ、今も日本一の足袋生産地として和装文化の足元を支え続ける行田には、多くの足袋蔵等歴史的建築物が残り、趣きある景観を形づくっています。(行田市教育委員会ホームページより)

【日本遺産(Japan Heritage)とは】

文化庁によって平成27年度に創設された新しい文化財制度で、地域に点在する史跡・伝統芸能など有形・無形の文化財をパッケージ化し、我が国の文化・伝統を語るストーリーとして「日本遺産」に認定するものです。歴史的魅力に溢れた文化財群を地域主体で総合的に整備・活用し、世界へ戦略的に発信することにより、地域の活性化を図ることを目的としています。今回を含めて54件が日本遺産に認定されています。

構成文化財一覧39の内、24か所が行田中学区内のものです。5月29日(月)の朝会時に、文化財保護課の中島課長から講話をいただくことになりました。皆さんも”日本遺産”の街「行田」を散策してみてください。



イサミコーポレーション(旭町4-1)



足袋と暮らしの博物館(行田1-2)



足袋蔵ギャラリー門(かど)
行田7-3



大澤家住宅旧文庫蔵
行田9-5



旧忍町信用組合店舗(行田13-31)
*水城公園に移築予定



十萬石ふくさや行田本店(行田20-15)



「あんど」奥貫蔵(天満3-12)